

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR



Photo: Benjamin Lee

名古屋フィルハーモニー交響楽団

第374回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン

〈「都市と音楽」シリーズ〉

サンクトペテルブルク

Nagoya Philharmonic Orchestra The 374th Subscription Concert
2010.4-2011.3 Season 'St. Petersburg' from "City and Music Series"

2010 **11.12** (金) **11.13** (土)
6:45pm 開演 4:00pm 開演
(6:00pm 開場) (3:15pm 開場)
Nov. 12 (Fri.) 6:45pm Nov. 13 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

【指揮】井上道義
Conductor: Michiyoshi INOUE

2010
名古屋
開府
400年

ベートーヴェン: 序曲『コリオラン』 作品62
L. v. Beethoven: Overture "Coriolan", Op. 62

ショスタコーヴィチ:
交響曲第7番ハ長調 作品60『レニングラード』
D. Shostakovich: Symphony No.7 in C major, Op.60 "Leningrad"

※本公演に休憩はございません。

St. Petersburg

平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)

1回券料金(税込)

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000
C席 ¥3,000 D席 ~~¥2,000~~ 完売
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年7月28日(水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介添人1名様まで可)対象
ユース割引 / S~D席を20%割引
24歳以下の方(学生・社会人を問いません)対象
※大学生協でも取扱
車椅子席 / A席を20%割引(¥4,000) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel.052-339-5666

<http://www.nagoya-phil.or.jp/> **名フィル** 検索

主催:財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後援:愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育局・財団法人名古屋文化振興事業団・中日新聞社・中京テレビ放送株式会社

≡ Biography ≡

指揮

井上 道義

Conductor
Michiyoshi INOUE

Photo: Benjamin Lee



1946年東京生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。1971年ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め世界的な活躍を開始する。1972年にはセルジュ・チェリビダッケ主催の講習会に出席し1位になり、才能を高く評価された。

1976年日本フィルの定期演奏会で日本デビュー。1977-82年ニュージーランド国立響の首席客演指揮者、1983-88年新日本フィルの音楽監督、1990-98年京都市響の音楽監督・常任指揮者を務めた。

1993年にはラファエル・クーベリックの代役としてシカゴ響の定期公演に登場、好評を持って迎えられたために、翌年再び定期的に招かれた。またロンドンのロイヤル・フィルを定期的に指揮し、これまでに〈マーラー：交響曲第4番、第5番、第6番〉のレコーディングを残している。そのほか、これまでにベルリン放送響、ハンブルクNDR放送響、シュトゥットガルトSWR放送響、バーデン＝バーデン・フライブルクSWR放送響、ケルン・ギュルツェニヒ管、ミュンヘン・フィル、ドレスデン・フィル、スカラ・フィル、ロシア国立響、レニングラード響、フランス国立管、ロワール国立管、リール国立管、ブタペスト祝祭管、ハンガリー国立響、ルーマニア国立放送管、ボルティモア響、KBS響、台湾国家響など欧米・アジア各国へ客演している。

2000年9月より3シーズンにわたって新日本フィル首席客演指揮者を務めた。2007年11-12月にはサンクトペテルブルク響、東京フィル、新日本フィル、広島響、そして名フィルという日露5つのオーケストラとともに「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏 プロジェクト2007」を日比谷公会堂にて開催。音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。

2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督ならびに石川県立音楽堂アーティストック・アドバイザー。1991年ザ・シンフォニーホール国際音楽賞・クリスタル賞、第9回中島健蔵音楽賞、1998年フランス政府より芸術文芸勲章(シュヴァリエ賞)を受賞。

オフィシャル・ウェブサイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>

<「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第374回定期演奏会 「サンクトペテルブルク」

池田 卓夫(日本経済新聞社文化部編集委員)

還暦(60歳)を過ぎると丸くなる日本人も多いなか、井上道義は「もう一度生まれ変わったつもり」でますます、尖がってきた。ショスタコーヴィチ生誕100年ではなく、1年後の2007年、多くの交響曲の日本初演会場でありながら今はコンサートに使われない東京・日比谷公会堂で全曲演奏を貫徹し気を吐いた。中でも名フィルとの交響曲第11、12番は東京のオーケストラをしのご熱演で、強く印象に残る。「サンクトペテルブルク」をテーマにした回で、名フィル定期へ6シーズンぶりに戻ってくるのに際し、井上は同じショスタコーヴィチの第7交響曲を選んだ。副題の「レニングラード」は旧ソ連時代のペテルブルクの名称。日本人にはなぜか、レニングラードの方が親しまれている。ショスタコーヴィチが第2次世界大戦中、ナチス・ドイツに包囲されたレニングラード市内で書いた抵抗の音楽。「この男、危険につき」のマエストロの怒りが全面的に爆発するはずだ。

その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード:111-685).....0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド...052-972-0430
ナディアパークプレイガイド.....052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
お申込み:ポピンスサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
(演奏会の3日前(土・日・祝をのぞく)まで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしていません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>